



おまち

Vol.
86

2014.11.1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)



県立多々良沼公園に遊歩道ができました

【投稿】 **世界遺産を活用した市民協働によるまちづくりについて**

【投稿】 『歩きたくなるまち・小幡』の実現に向けた甘楽町の取り組みについて

マーチィ'sROOM

【まちづくりイベント情報・広告掲載】

- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 桐生市からきた高野さん
- 県内で行われるまちづくりに関係するイベントの紹介と広告掲載
- マーチィの独り言 編集後記



県立女子大学の学生によるまちづくりへの挑戦 市町村によるアクションプログラム策定

表紙：多々良沼遊歩道事業の様子



県立女子大学の学生による まちづくりへの挑戦

群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部
准教授 安齋 徹

群馬県立女子大学は学生数が約1000名の大学ですが「小さくとも個性のある大学」を目指し、地域貢献や国際化を視野に入れた特色ある教育を行っています。2005年に開設された国際コミュニケーション学部では「英語」と「リーダーシップ」を身につけ世界に羽ばたく女性リーダーの育成を目標にしていますが、「Think Globally, Act Locally」を実践すべく、学生はまちづくりにも様々な形で取り組んでいます。

1. 大学生観光まちづくりコンテスト

観光による国内外の交流人口の拡大や日本独自の文化財・伝統芸能等の文化遺産の活用は、地域経済活性化や雇用機会増大に大きな役割を果たします。そのため観光立国を担う人材の育成が求められ、特に、従来の枠にとられない若者の自由な発想に基づくアイデアが期待されています。このような状況を鑑み、大学生に向けた実践的教育の場として、観光まちづくりを通じた地域活性化プランを競う「大学生観光まちづくりコンテスト」(主催：大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会、後援：観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省など)が毎年開催されています。

安齋ゼミナールでは2013年からこのコンテスト(東日本ステージ)に挑戦しています。2013年は「山梨県富士河口湖町を題材とした訪日外国人に対する観光まちづくりプラン」というテーマに「人旅(ひとたび)～あなたを待つ人がいる～」というプランで応募しました。2014年は「富士河口湖町および笛吹市の双方が活性化するような観光まちづくりプラン」というテーマに「祈りのランタンで富士山の噴火を阻止せよ」というプランで応募しました。いずれも現地でのフィールドワークを通じて、地域住民の意識の向上がポイントと考え、観光客と地域住民が交流できる機会を創出し、そこに学生らしい斬新なアイデアを盛り込みました。

東京の有名大学も多数参加する中、何と2年連続で県立女子大学の安齋ゼミナールの学生が「ポスターセッション最優秀賞」を受賞しました。クリエイティブな企画力と元気あふれるプレゼンテーションが伝統になりつつあります。



2013年



2014年

2. 玉村町との連携

「ビジネス・リーダー論」という授業では毎年地域の課題を取り上げ、受講生がグループで問題解決に取り組んでいます(例：2013年「郷土料理“おつきりこみ”のプロモーション」)。2014年度は玉村町と連携し「名もない町を名もある町に～玉村町を売り出すために、どのような方法が考えられますか～」というテーマに取り組みました。5月に「玉村町の歴史と概要」「玉村町の観光と広報戦略」という出前講座を受講し、6月に玉村八幡宮、北部公園、肉の駅、道の駅予定地、歴史資料館、軍配山古墳などを巡る「玉村ツアー」を実施しました。

2014年7月24日には発表会を開催し、玉村町の町長・副町長・教育長以下約50名の職員の方々の前で、5つのグループが創意工夫を凝らしたプランを発表しました。「花火大会」「道の駅」「たまたん」「バラ(町の花)」「北部公園」の有効活用や、「食べ物」「ランイベント」「レンタサイクル」「カフェ」を使った「まちおこし」プランなど学生らしい幅広い視点と豊かな発想が織り込まれていました。学生からは「地域の魅力を再発見するきっかけになった」「若い世代にこのような機会が与えられたことが嬉しかった」「社会を変えていくことの責任感と重要性を学んだ」という感想が寄せられました。玉村町では一部の提案の事業化も検討しています。



グループ	学生による提案内容
A	玉村江戸祭りの開催、道の駅の活用、たまチャリ
B	ドッカン 夏の大作戦！（花火大会を利用した知名度の向上）
C	たまたんカフェ、北部公園の活性化プロジェクト
D	ハロウィン “たまむRUN”（様々なイベントを開催）
E	玉村にバラ園を！（道の駅付近に町民参加型のバラ園を開設）



3. 社会デザインに向けて

将来の予測が困難な今、我が国が目指すべき社会像を描く知的な構想力が大学に求められています。県立女子大学国際コミュニケーション学部では今年度「社会デザイン論」の授業を開講し、安齋ゼミナールも「社会デザイン論ゼミナール」に改名しました（全国でも「社会デザイン」を冠したゼミナールは稀有な存在です）。ゼミナールでは「社会を変える、ビジネスを創る、自分を磨く」ことを目標に「日本一のゼミを目指そう！」というビジョンを掲げて活発に活動しています（例：東北復興応援チャリティ・リレーマラソン東京2014に参画し、群馬県内で募金活動を実施）。様々な試行錯誤を繰り返しながら、まちづくりを含む「社会デザイン」の営みに参画し、「女性の活躍」と「地方創生」という課題に学生と共に挑んでいきます。



地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

・観光事業支援 ・観光協会運営支援
 ・特産品を活かした商品、メニュー開発
 ・ご当地グルメ開発 ・店舗運営支援 他

ひのじゃがカフェFBページ




おいねめし（榎原村で購）FB

ひのじゃが



チーズドリア

* 東京都榎原村「ひのじゃがカフェ」で開発、特産品を活用した「ひのじゃがチーズドリア」

The creation of new Hometown

新しいふるさとの創造

建設コンサルタント
株式会社 高崎測量

・都市計画
 ・測量調査
 ・土木設計
 ・建物補償

〒370-0002 高崎市日高町580番地
 TEL 027-361-2271 (代表)
 FAX 027-363-4743
 URL www.takasoku.co.jp
 E-mail tk-mail@takasoku.co.jp







市町村によるアクションプログラム策定

【前橋市アクションプログラム】

前橋市 都市計画課

■未来へと続く「まえばし」を見据えて

本市は「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を受けて、本格的に到来する人口減少・超高齢社会に対応した都市づくりを実現するため、平成26年6月に「前橋市アクションプログラム」を策定しました。

時代は「成長」から「成熟」へ、そして「更新」へと変遷し、厳しい経済状況下において、これまで以上に効率的・効果的な持続性の高い行政運営が求められています。

「前橋市アクションプログラム」は、『まちも人も生き生きと輝く都市「生命都市いきいき前橋」』を将来像に掲げ、中心市街地における都市空間の再構築や郊外地域における都市機能の集約、そして公共交通と連携した市域全体の生活環境を充実していくこととしています。

特に中心市街地では人口減、高齢化が顕著に現れていることから、まちなかへの居住回帰を重点プロジェクトの一つとしており、若者から高齢者までが便利で魅力を感じる都心居住環境を整えることが必要だと捉えています。

そういった中、84号で紹介させていただいた「シェアフラット馬場川」は、既存ストックである空き店舗を学生用シェアハウスに活用した例として、多方面より高い評価を受けており、中心市街地の再生へ向けた大きな足掛かりとなっています。



前橋市中心市街地住宅転用促進事業
空き店舗等を住宅にリニューアルする際の補助金
単身用 50万円/戸(工事費の1/2以内)
世帯用 100万円/戸(工事費の1/2以内)
耐震工事が必要な場合は、工事費の23%以内

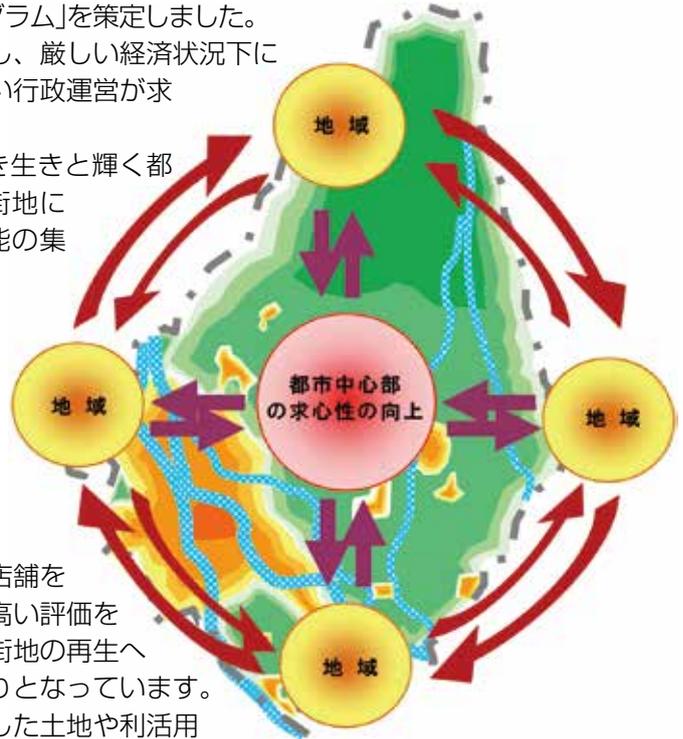
一方では、遊休化した土地や利活用が困難な老朽化した建物も散々している状況も続いていることから、円滑な都市機能更新を促進するために「市街地総合再生計画」を策定し、再開業事業等の要件緩和を図ることで関係権利者や民間事業者等が事業に取り組みやすい環境を整えたいと考えています。

また、都市再生特別措置法の改正を受けて、市町村では「立地適正化計画」を策定し実行的な集約型都市構造構築へ向けた動きを求められており、本市としてもこうした様々な制度等を模索しながら、持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。

■都市づくりはシビックプライド

本市は、赤城山や利根川といった雄大な自然とJR前橋駅北口から続くけやき並木、市内中心部を流れる広瀬川などの都市環境に恵まれ、永きに渡って文化や歴史を育み今日の「まえばし」を築き上げてきました。

それらを継承しさらにより良いものとしていくためには、まちに愛着と誇りを持てるようになることが必要であり、まちづくりの主役である「まえばし」に関わる方々の発意や活動と市の制度や支援策を連携させながら、都市づくりを推進していきたいと考えています。



写真上
JR前橋駅北口から県庁まで続くけやき並木



写真右
前橋文学館と広瀬川河畔緑地の夜景

【桐生市アクションプログラム】

桐生市 都市計画課

■2つの重点プロジェクトを設定

桐生市では、平成26年9月にぐんま“まちづくり”ビジョンを踏まえた桐生市アクションプログラムを策定しました。この中で「都市機能の充実・強化によるまちなか活力の創出」と「歴史・文化資産の保全・活用と交通環境の整備促進によるおもてなしまちづくり」をテーマとして取り組む2つの重点プロジェクトを設定しています。

■都市機能の充実・強化によるまちなか活力の創出

重点プロジェクト1では、商業、交通、行政、教育等の都市機能が市街地に集積している当市の強みを活かし、公有施設や空き家、空き地、空き店舗を有効活用しながら都市機能の維持とさらなる充実を図ることにより、まちなかの魅力を向上させ、まちなかにぎわいや活力を創出することを目指しています。

今年度より居住を目的として市内に住宅を取得する方に、住宅取得費用の一部を補助する「桐生市住宅取得応援事業」を実施しており、旧市街地等の一定の地域で住宅取得した場合や「桐生市空き家・空き地バンク」に登録されている物件を利用して住宅を取得した場合は、加算補助を行っています。まちなかにおける定住人口の維持や空き家・空き地等の現在使用されていない不動産の有効活用は、まちなかにぎわいや活力の創出のための重要な要素であるため、多くの方にこの補助制度を利用してもらえよう周知に努めています。



桐生駅周辺の市街地



桐生新町重伝建地区



新桐生駅周辺

■歴史・文化資産の保全・活用と交通環境の整備促進によるおもてなしまちづくり

重点プロジェクト2では、重要伝統的建造物群保存地区をはじめとした歴史・文化資産の保全・活用に加え、まちなかへ誘導するための広域アクセス機能の強化、多様な移動手段を活用したまちなか回遊性の向上を推進することにより、観光客をはじめとした交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指しています。

特に観光需要を見据えた広域アクセス機能の強化に関する事業として、「新桐生駅前広場整備」と「新桐生駅のバリアフリー化」に向けて取り組んでいきます。首都圏と直結している東武鉄道新桐生駅からまちなかに人を呼び込むためには、鉄道から他交通機関に乗り換えが容易にできる環境整備、交通結節機能の強化が必要と考えています。また、新桐生駅では改札と下り線ホームの間には階段しかなく、車椅子の方や高齢の方が利用しづらい状況となっているため、駅構内とその周辺のバリアフリー化を促進し、利用者の利便性向上を図ることが重要と考えています。

これらの事業については、今後、地元住民や群馬県、鉄道会社等と協議をしながら具体的な整備内容について検討を進めていく予定です。また、重点プロジェクトに挙げている他の事業を同時に推進していくことにより事業効果が最大限発揮されるので、関係部局と積極的に連携を図りながら実施に向けて取り組んでいきます。



【みどり市アクションプログラム】

みどり市 都市計画課

■はじめに

みどり市では、平成24年12月に「ぐんま“まちづくり”ビジョン」に基づくアクションプログラム策定モデル市町村の指定を受け、平成26年8月に「みどり市アクションプログラム」を策定しました。

■みどり市アクションプログラムの取り組み方針

アクションプログラムの策定にあたり、「まちづくりの現状と課題」や「今後生じる望ましくない状況」を分析したところ、特徴が異なる3町村の合併で誕生したみどり市は、地域によって抱えている課題も異なり、「町の検証カルテ」のすべての項目で課題がありとの判定となりました。この結果を踏まえ、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」で定める7つの基本方針すべてに取り組む内容となりました。

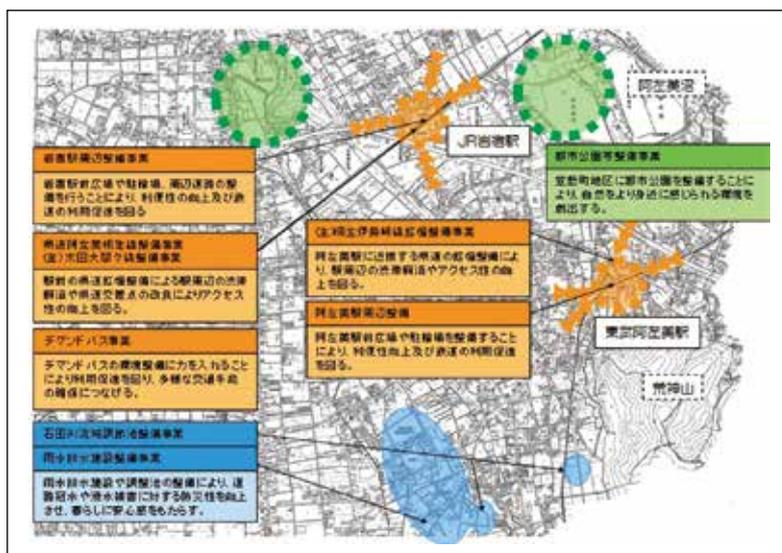
■みどり市アクションプログラムの重点プロジェクト

みどり市アクションプログラムでは、おおむね5年以内に効果発現が期待される複数の事業をまとめた「重点プロジェクト」として、笠懸地区における「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」と大間々地区における「地域資源を活用した観光まちづくり」の2つのプロジェクトを策定しました。

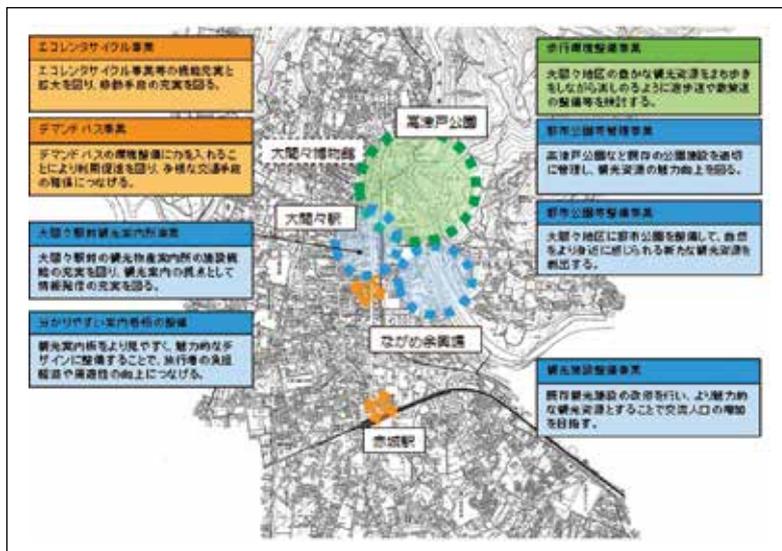
「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」では、笠懸町阿左美地区内にある東武鉄道阿左美駅、JR岩宿駅の駅前広場を中心とした周辺整備を行い、両駅が共通して抱える駅前広場が狭いという課題を解消し、公共交通の利便性の向上を図ります。特に阿左美駅周辺では、群馬県が主要地方道桐生伊勢崎線の拡幅整備を進めているため、群馬県と協力しながら道路と駅の一体的な整備を図っていきます。また、同地区における雨水排水対策や公園整備等により市民の生活環境を向上し、生活拠点としてまちの魅力を高めます。

「地域資源を活用した観光まちづくり」では、古くから銅山街道の宿場町として栄えた大間々町において、旧市街地からの人口流出が増加していることから、ながめ余興場や高津戸峡などの豊富な観光資源を活かし、観光案内所の機能充実や歩行環境を整備することで、多様な観光客のニーズに応え、交流人口の増加とまちの活力向上を図ります。

みどり市では、今後、「みどり市アクションプログラム」で定めたプロジェクトに取り組み、みどり市が目指すまちの将来像「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」の実現に向けた、まちづくりを進めていきます。



「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」地区概要図



「地域資源を活用した観光まちづくり」地区概要図





世界遺産を活用した市民協働によるまちづくりについて

伊勢崎市 企画調整課 街づくり推進係

伊勢崎市では、田島弥平旧宅を活用した市民協働によるまちづくりを推進するため、境島村まちづくり推進会議及び同女性部会を開催しています。同会議では、帝京大学経済学部観光経営学科の大下茂教授にもご協力をいただきながら、来訪者へのおもてなし対応に向けたさまざまな意見交換が行われています。

今回は、これまで検討してきた内容について、実際に境島村を訪れた来訪者からのご意見をいただくため、大下教授のゼミ生にご協力をいただき、9月10日にモニターツアーを開催いたしました。モニターツアーでは、境島村及び境町駅周辺のまち歩きを実施した後、ワークショップ形式の会議で、モニターツアーの良かった点や改善点について意見交換が行われました。意見交換では、「来訪者の年齢層に合ったガイドをするべき」などの改善点が挙げられ、今後のおもてなし対応を考える上での貴重なご意見をいただきました。

本市は、今回のモニターツアーの結果を踏まえて、9月26日に同ルートを巡る女性部会(団体ヒアリング)を開催いたしました。これらのモニターツアーや団体ヒアリングで得られた幅広いご意見を基に、来訪者のニーズに合ったおもてなしができるよう、今後も地元の皆様と協働でまちづくりを推進していきたいと考えております。



まち歩きの様子(田島弥平旧宅にて)



ワークショップの様子(意見交換)



ワークショップの様子(意見発表)



『歩きたくなるまち・小幡』の実現に向けた甘楽町の取り組みについて

甘楽町 振興課 都市計画係

「甘楽町観光まちづくりワークショップ」による官民協働のまちづくり

町では、大下茂帝京大学教授を甘楽町まちづくりアドバイザーに迎え「歩きたくなるまち『小幡』で文化をプロデュースする」をテーマに、平成23年度より甘楽町観光まちづくりワークショップを実施しています。

初年度は、町職員で構成するワーキンググループにより、来訪者に“ゆったりとした時間旅行を楽しんでいただけるよう”な受け皿づくりを進めるべく、観光まちづくりに関する講座のほか、集客施設の魅力向上に向けて現地踏査を行い、少しでも長く滞在したくなるような施設へと磨きをかけるための検討を行いました。

2年目からは、職員ワークショップに加え、「観光案内の会」「楽山園友の会」「商工会」といった町職員によるワークショップの実施地域づくりを支えている住民団体を対象とした「地域めぐり」や「食の開発」といったテーマ別ワークショップも展開してきました。

地域めぐりでは帝京大学の学生にも協力をいただき、観光案内(まち歩き)の実践等を通じた意見交換により、若年層を呼び込むアイデアや情報発信手段などハード・ソフト両面における様々な課題の洗い出しができました。

観光まちづくりワークショップ最終年度となる今年度は、観光まちづくりプラン骨子に基づいて具体的な取組内容を検討し、これまでの集大成として『甘楽町観光まちづくりプラン』を策定することを目的としています。



町職員によるワークショップの実施



帝京大生を迎えての観光案内の実践



食の祭典(H26.3.16)の様子。大勢のお客さんにぎわいました

今後の観光まちづくりについて

観光を構成する要素は単に施設の魅力によるものではなく、そこにふれあう人の交流によるものと考えます。観光まちづくりワークショップにより素地が構築された官民協働のまちづくりを今後更に展開し『歩きたくなるまち・小幡』の実現に向けた取り組みを積極的に進めていきたいと思っております。





矢島利幸さん(左から2番目)



講座の様子

私は平成25年度の群馬県主催パートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。ファシリテーションという技術はなかなか学べないものだと思いますが、今回の講座でその真髄に触れることができたような気がいたします。また、講師の帝京大学経済学部観光経営学科長大下茂教授は、総務省から「地域経営の達人」と認定されており、全国各地の地域おこし・地域プロデュースに携わっていることから、講座ではファシリテーションの技術だけでなく、まちづくりの実践的な学びや、「地域の記憶」を紐解き現代的な価値を重ね合わせることの大切さを教えていただきました。現在私は高崎市の群馬地区において区画整理事業に携わっております。当地区は強引な事業推進や説明不足等が原因で反対運動が長年続き、事業が行き詰っております。そのため、平成19年から地域の方々やNPO団体から様々なご意見やご要望をいただいて事業の見直し作業を行ってきたところです。平成25年に基盤の道路計画から今までの街並みを活かした計画へと大幅な変更をしたところで、まちづくりはまだ始まったばかりと言えます。これからより具体的な話し合いが進んでまいります。まちづくりを取り巻く価値観は大きく変わってきております。正直まだまだファシリテーターには経験浅いですが、この講座で学んだファシリテーションのノウハウを少しでも活かし、ファシリテーションの経験を積み重ね、地域のお役に立ちたいと思っております。最後になりますが講師の大下先生、アシスタントの滝沢さん、受講者の皆様、事務局の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

今年4月より人事交流職員として、桐生市より群馬県都市計画課景観・都市行政係に配属されました高野と申します。配属になった当初は「景観ってなんだろう」というところからスタートしました。昨年の景観講演会などの資料等を読み、景観は「人が見ることで映るものである」と学びました。各市町村の取組についても会議等に参加し、いろいろと個々の魅力を感じています。また屋外広告物についても伊勢崎・桐生・館林方面を担当しており他県や各土木事務所、各市町村からの質問に対して条例等を調べ回答しています。今まで景観や屋外広告物について係ることがなかったため条例などを一所懸命学び、桐生市においても景観に配慮したまちづくりができるようにして参りたいです。配属になり半年経ち少しずつですが馴れてきましたが、今まで都市計画については携わることがなかったため知らないことも多々ありますので、都市計画についてなど他の係の業務についても学んでいければと感じております。

マーチの掲示板

桐生市から来た高野さん



今年4月より人事交流職員として、桐生市より群馬県都市計画課景観・都市行政係に配属されました高野と申します。配属になった当初は「景観ってなんだろう」というところからスタートしました。昨年の景観講演会などの資料等を読み、景観は「人が見ることで映るものである」と学びました。各市町村の取組についても会議等に参加し、いろいろと個々の魅力を感じています。また屋外広告物についても伊勢崎・桐生・館林方面を担当しており他県や各土木事務所、各市町村からの質問に対して条例等を調べ回答しています。今まで景観や屋外広告物について係ることがなかったため条例などを一所懸命学び、桐生市においても景観に配慮したまちづくりができるようにして参りたいです。配属になり半年経ち少しずつですが馴れてきましたが、今まで都市計画については携わることがなかったため知らないことも多々ありますので、都市計画についてなど他の係の業務についても学んでいければと感じております。

両毛線沿線のほほんまち歩き

「西の西陣 東の桐生」と呼ばれるほど、両毛線沿線は古い歴史を持つ織物と養蚕のベルト地帯です。そんな織物のまち・養生で着物を着てスタンプラリーを楽しみながらまちなかを散策します。特典をうけられるお店もたくさんあります。

- 10月1日(水)～12月31日(水)
- 桐生市内
- 【お問い合わせ先】
- 桐生市産業経済部観光交流課
- TEL 0277-46-1111(内線367)



まちづくりイベント情報

「高校生の声～私たちの描く未来図」ふじおか市民討議会2014

今後のまちづくりを担う若者たちが将来を考えるきっかけづくりを目的として、高校生を参加対象に、ふじおか市民討議会2014を開催します。観覧は自由ですので、興味のある方はお越しください。

- 11月3日(祝・月) 9:00～15:40
- 群馬医療福祉大学藤岡キャンパス
- 【お問い合わせ先】
- ふじおか市民討議会実行委員会(田口)
- TEL 080-5512-8160
- H25の様子▶



まちづくり玉村塾 赤煉瓦倉庫実験活用23 「加賀美宏絵画展—日本の原風景を画く—」

歴史資産を活かしたまちづくりに取り組んでいる「まちづくり玉村塾」が、町内在住の加賀美宏さんの絵画展を開催します。15日のみ午後2時～4時 とうたごえ☆ライブハウス開催 協力:ハーシーチケット

- 11月15日(土)～11月16日(日)
- 10:00～15:00
- 赤煉瓦倉庫(玉村町下新田 国道354号沿い 元桐生信用金庫玉村支店となり)
- 【お問い合わせ先】
- まちづくり玉村塾事務局 玉村町生涯学習課文化財室
- TEL 0270-30-6180



わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

公共交通を活かしたまちづくりの一環として、飾り付けボランティアを募集し、市民の方々と一緒にわたらせ渓谷鐵道の駅にイルミネーションを飾り付けます。情緒豊かな駅とイルミネーションをお楽しみ下さい。

- 平成26年12月7日(日)～平成27年2月28日(土)
- 17:00～各駅最終通過まで
- わたらせ渓谷鐵道各駅(15駅)
- 【お問い合わせ先】
- 事務局 水沼駅温泉センター
- TEL 0277-96-2500



帝京大学 観光経営学科
Department of Tourism Management

2015年八王子キャンパスに地下2階地上2階の新校舎が誕生します。

学際的教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識を
あわせ持った人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けて万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報 ※詳細は必ず入学試験要項2015をご確認ください。

	出願期間	選考試験日	合格発表日
一般入試1期	平成27年1月5日(月)～1月22日(木)	【試験日自由選択制】 1月29日(木) 1月30日(金) 1月31日(土)	2月4日(水)

※一般入試1期1月29日(木)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。

八王子キャンパス広報グループ
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: http://www.teikyo-u.ac.jp

マーチの独り言



最近、私が過去31年間に自動車に遣った金額を試算したところ、約2400万円だったので驚きました。これは車両やタイヤの購入、修理、保険、車検、燃料など、家族の分も含めて積み上げた結果です。また、私がかつての27年間の通勤で可能な限り公共交通機関を使い、自分専用の自動車を所有せずにいたならば約580万円(年間約21万円)が浮いていたこともわかりました。そこで私はこれからはそのような生活をすることに決めました。皆さんも、このような試算により生活設計をしてみたいでしょうか。 編集担当の同僚

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html